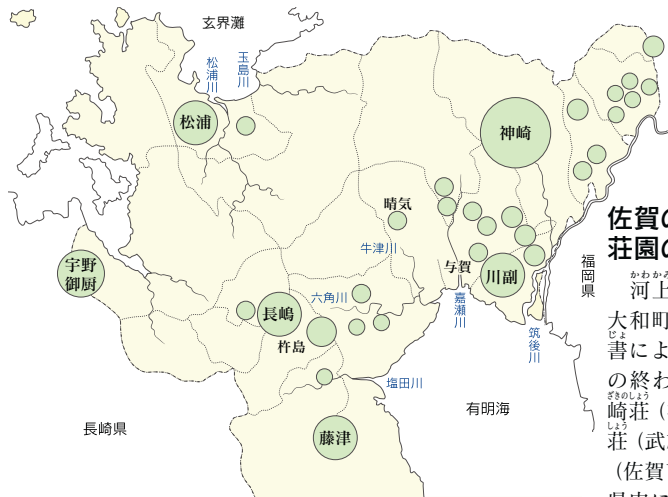


鎌倉時代の御家人たちの活動や、戦国時代に勢力争いを繰り広げ、天下統一を目指した武将たちの活躍をみてみましょう。

□佐賀の荘園の広がり



(株式会社日本標準「佐賀の歴史ものがたり」を参考に作成)

佐賀の主な荘園の分布

河上神社(佐賀市大和町)に残る古文書によれば、13世紀の終わり頃には、神崎荘(神崎市)、長嶋荘(武雄市)、川副荘(佐賀市)など、佐賀県内に大きな荘園がありました。

日宋貿易でもたらされた陶磁器

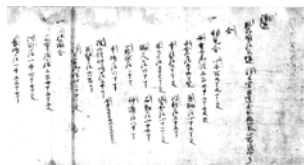
平安時代末期には、日宋貿易の拠点だった神崎荘。吉野ヶ里町の下中杖遺跡からは、日宋貿易でもたらされた、唐の終わり頃から宋時代の陶磁器が出土しています。



(佐賀県立博物館 蔵)

「河上宮造営用途支配惣田数注文」

「河上神社文書」中の「河上宮造営用途支配惣田数注文」に、肥前国内の荘園の名前と、その面積が記されています。



(興止日女神社 蔵、寄託先：佐賀県立図書館)

広さナンバー1の荘園は「神崎荘」!

皇室の荘園として栄えた神崎荘の広さは3000町で、その範囲は、現在の神崎市、吉野ヶ里町、上峰町、みやき町の一部にまで及びます。肥前国内で最大の広さで、平安時代末期には、日宋貿易の拠点でした。

調べてみよう!

地域に残っている鎌倉時代の文化財を調べてみよう



げんこう □元寇における佐賀の武士たちの活躍

「蒙古襲来絵詞」模本

元の皇帝フビライの命令で、元軍が北部九州に2度襲来しました。特に伊万里・唐津地域は大陸に最も近いので、元軍の軍船が目の前まで押し寄せた場所でした。日本軍は白石六郎通泰をはじめ、佐賀の御家人や松浦党の武士たちが活躍しました。



(佐賀県立名護屋城博物館 蔵)



『歴史資料集(佐賀県版)』を参考に作成

元寇防塁

元軍が再び襲ってくることに備えて、博多湾沿岸、東西20 kmにわたって石築地(石垣)を築造。佐賀の御家人は姪浜地区を担当しました。



■松浦党ゆかりの山寺遺跡(伊万里市)(伊万里市教育委員会 提供)

海に生きる武士団「松浦党」

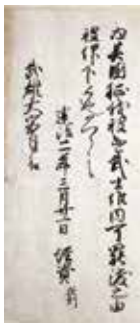
現在の伊万里市から長崎県の五島列島にかけて成立した、宇野御厨と呼ばれる荘園などで活躍していた武士たちの集まりが松浦党です。海に生きる武士団として、元軍との戦いに参戦し、私貿易も行っていました。

調べてみよう!

日本の武士たちが驚いた、元軍の戦法とはなんだろう?



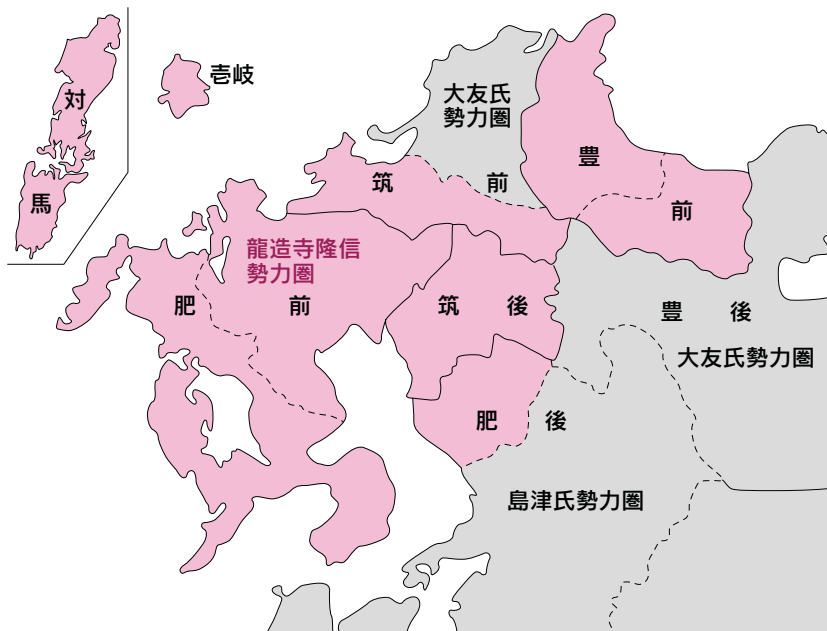
「武雄神社文書」中の「少式経資書状案」。1回目の元寇の後、御家人の武雄神社大宮司に対して元軍制圧のための海外出兵の命令が出されました。



(武雄神社 蔵、寄託先：佐賀県立図書館)

九州三強の一人、龍造寺隆信

龍造寺隆信全盛期の勢力圏



〔佐賀市史〕第1巻を参考に作成

16世紀後半の九州で、勢力を拡大した龍造寺隆信。なかでも、豊後を本拠とする大友氏、薩摩を本拠とする島津氏とともに、「九州三強」に名を連ねていました。肥前・肥後・筑前・筑後・豊前の五ヶ国と、壱岐・対馬の二島に支配・影響を及ぼしました。



（佐賀市 宗龍寺 蔵、寄託先：佐賀県立博物館）

龍造寺隆信像（部分）  
（佐賀県重要文化財）  
龍造寺隆信 1529（享禄2）年～  
1584（天正12）年

調べてみよう！

地域に残っている戦国時代の遺跡や戦いの伝承を調べてみよう。



見どころスポット

佐賀県立名護屋城博物館

住所：唐津市鎮西町名護屋 1931-3  
電話：0955-82-4905  
開館時間：9時～17時  
休館：月曜日  
料金：無料（特別企画展は有料）



全国各地から戦国大名が集結した名護屋城

名護屋城跡とその周辺の陣跡

（国指定特別史跡）



（佐賀県立名護屋城博物館 提供）

名護屋城は大陸侵略への拠点として、豊臣秀吉が唐津市鎮西町に築きました。全国から約160の大名と、生活物資や軍事物資を持った商人たちも集結し、巨大な城下町ができました。

城周辺の様子を描いた「肥前名護屋城図屏風」をクローズアップ  
（佐賀県重要文化財）



■にぎわう城下の町屋  
（佐賀県立名護屋城博物館 蔵）

■立派な五層の天守閣  
（佐賀県立名護屋城博物館 蔵）



（佐賀県立名護屋城博物館 蔵）

豊臣秀吉像 1537（天文6）年～1598（慶長3）年



（佐賀県立名護屋城博物館 提供）

ゲーム感覚で楽しめる「バーチャル名護屋城」

佐賀県立名護屋城博物館でバーチャルリアリティ（VR）を体験！420年前の名護屋城が目の前によみがえります。